

## 寄贈品コーナー 流星の故郷を探して～シチズンサイエンス～

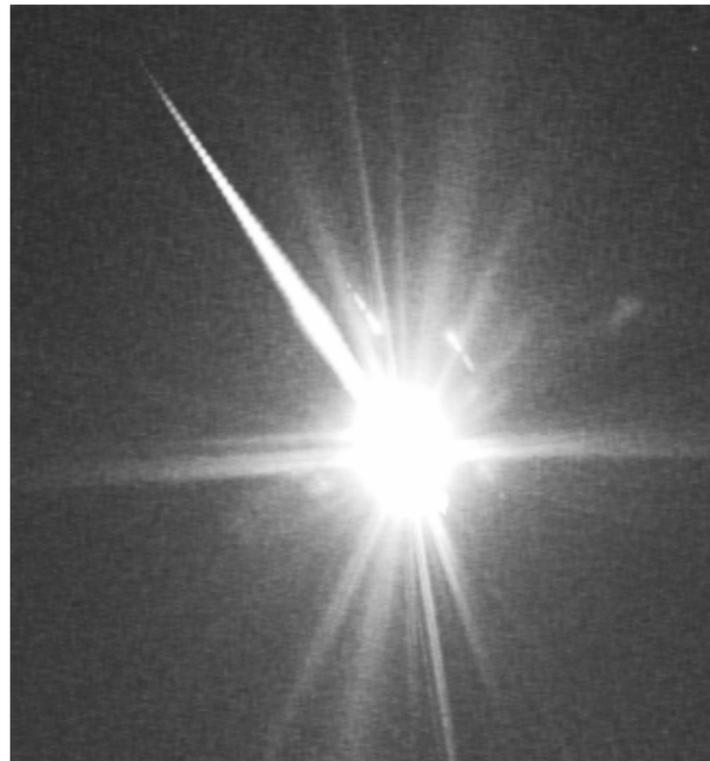
天体観察会流星分科会では、平塚周辺 16 か所の各会員自宅を中心に観測拠点を設け、合計約 30 台のカメラを運用しています。

観測ネットワークでは年間でおおよそ 5 万個の流星の動画を撮影し、各会員が流星の発光位置、等級などを測定しています。また得られた流星のデータから、流星の放射点、地表経路、軌道要素を計算し、年間で 5 千個ほどの流星の故郷を明らかにしています。

流星分科会は 2014 年に発足し、様々な機器を作って改良を重ね、観測を続けてきました。これまでの流星分科会の活動を紹介します。

★**展示場所**：1 階寄贈品コーナー

★**展示期間**：3 月 1 日(金)から 4 月 7 日(日)まで



2023 年 11 月 13 日 21 時 49 分に流れた火球  
(清水紘司さん撮影)